

は し が き

本年度「女子教育定期研修」に参加したかたがたと当センターの担当所員との共同研究を「実践研究集録第10集家庭科編」として刊行いたします。

「女子教育定期研修」は、本年度で3年目となりますが、現在女子教育の中心教科と考えられる高校家庭科教育の問題を扱っております。

教育の現代化にともない、高校家庭科教育の質的改善が要請されております。従来の高校家庭科の指導方法の反省から、生徒に授業に対する興味と関心を持たせ、自主的な、意欲的な学習態度を養成することが肝要と思われます。

したがって、昨年、一昨年と「実験をとり入れた食物指導の試み」として所員と研修員と共同で実践研究を行ないましたが、その結果、生徒は実験をとり入れた授業に予想以上の興味と関心を示し、意欲的な学習態度がみられました。

本年度は、さらに課題解決学習をとり入れ、実験のほかには生徒の自主的な研究、調査も加え、意欲的な学習の指導をめざして努めてまいりました。

定期研修員10名のかたがたが年間にわたり定期的に当センターに集まり、所員や外部講師から実験の指導をうけ、また、学習指導の具体的な方法について協議、検討し、その結果にもとづき実践研究をしてきました。

しかし、何分にも問題の大きさにくらべ、時間の不足のためにじゅうぶんな成果が得られなかったきらいがありますが、この資料を各学校における指導に直接または間接に役立てていただければ幸いと存じます。ご活用の上、きたんのないご批判をいただきたいと思ひます。なお、今後一層の精進と充実を期したいと存じておりますので、よろしくご指導を賜りますようお願いいたします。

おわりに、校務多端の折、快く研修の機会と実践研究の場を与えてくださった校長先生や諸先生方に対して研修員とともに厚くお礼申し上げます。

昭和48年1月20日

新潟県立教育センター所長 土 肥 博